

<b>「東京大学アクション・プラン2005 - 2008」 2005年度中に達成した項目</b>
--

「東京大学アクション・プラン2005 - 2008」では、教育・研究・国際的活動・組織運営・財務・キャンパス環境・情報発信と社会連携の7つの項目について、2008年度までに東京大学として取り組む具体的な内容を示しています。

初年度の2005年度は、変化の動きを全体に及ぼす呼び水となるような取組に着手し、次のような取組を達成しました。

{ }内は、2005年度に公表したアクション・プランの該当項目

「学術俯瞰講義」を開始しました。{ - 1 }

全学的な支援の下に平成18年度新カリキュラムを開始しました。また、生命科学教育支援ネットワークによる教養教育の支援を開始し、理科 類の生命科学教科書が作成され、幅広く活用されました。{ - 1 }

駒場コミュニケーションプラザが完成しました。{ - 1 }

経済学部金融学科構想、理学部生物情報学科構想の検討が具体化しました。{ - 2 }

生命科学教育支援ネットワークが発足しました。{ - 2 }

文部科学省の「魅力ある大学院教育」イニシアティブに6研究科7件が採択されました。{ - 2 }

研究科横断的な副専攻制度の検討が始まり、大学院レベルでの医工連携が進みました。{ - 2 }

起業を目指す学生・研究者向けの東京大学アントレプレナー道場を実施しました。{ - 2 }

学部学生定員の運用に関する全学的合意が成立しました。{ - 2 }

文理融合教育研究を推進するため新領域創成科学研究科において「サステナビリティ学プログラム(修士課程)」の準備を開始しました。{ - 3 }

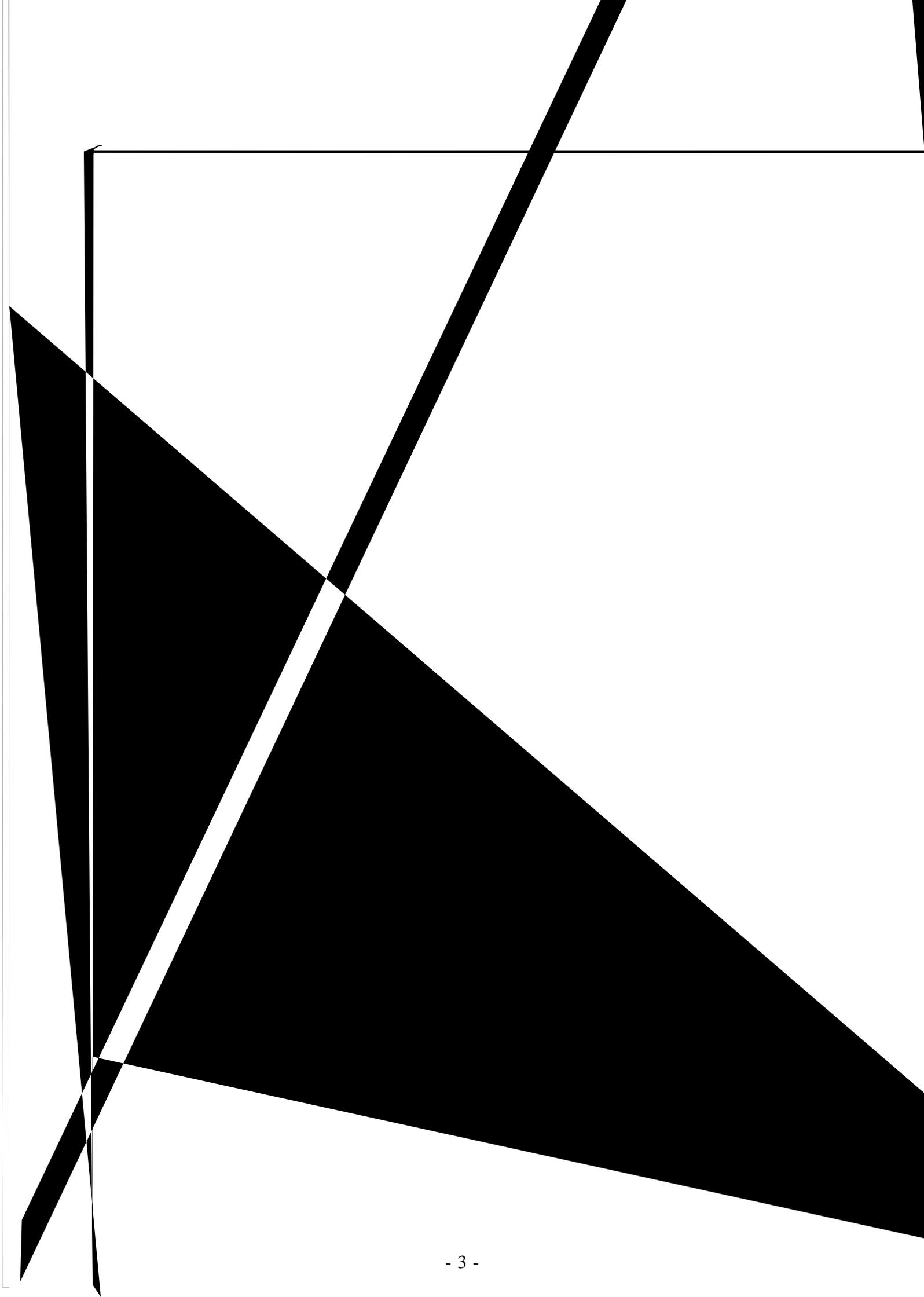
文部科学省の支援を受け「派遣型高度人材育成協同プラン」を開始しました。{ - 3 }

各部局でのアカデミック・ハラスメントへの相談体制を強化し、本部に東京大学アカデミック・ハラスメント防止委員会を設置しました。{ - 4 }

ITを活用した教育環境の整備のためのTREE(東京大学教育環境リデザインプロジェクト)が発足し、自己学習のための教材開発が始まりました。{ - 5 }

受験生向けの「大学案内」( 鯨芒瑠 内 叢溼蹤 ুক্ত)こ銚 )が発足ボ 塵兆 A





創立130周年記念キャンペーンとして